

倉敷駅周辺地区スマートシティ検討ワーキンググループ（岡山県倉敷市）

国土交通省 スマートシティモデル事業 重点事業化促進プロジェクト

○ AI/IoT技術で人と車の通行量と滞留状況をリアルタイムに把握し、駐車場および付近の渋滞予測と公共交通連携により倉敷駅周辺区域の面的な観光渋滞の対策を図る「スマート・パークアンドライド」モデルを構築する。まちなか歩きも誘導し、観光・地域活性化も狙う。

■ 対象区域のビジョン

対象区域は、将来の JR 山陽本線等倉敷駅付近連続立体交差事業も見据えた中心市街地活性化基本計画事業区域である。公共交通の利便性が高い倉敷駅周辺に都市機能がコンパクトに集積するまちづくりに取り組んでいる。

■ 対象区域の課題

倉敷美観地区周辺の観光需要による駐車場供給量不足、駐車場を探すうろつき交通、観光渋滞が課題となっている。また、駅南側の持続力ある賑わいも課題である。

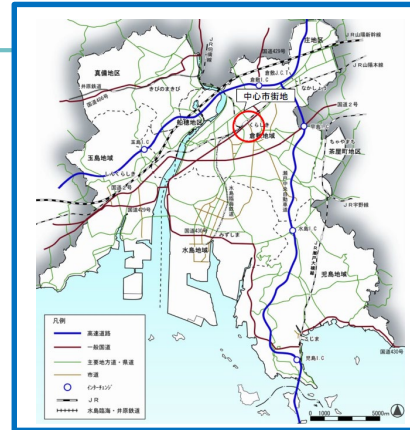
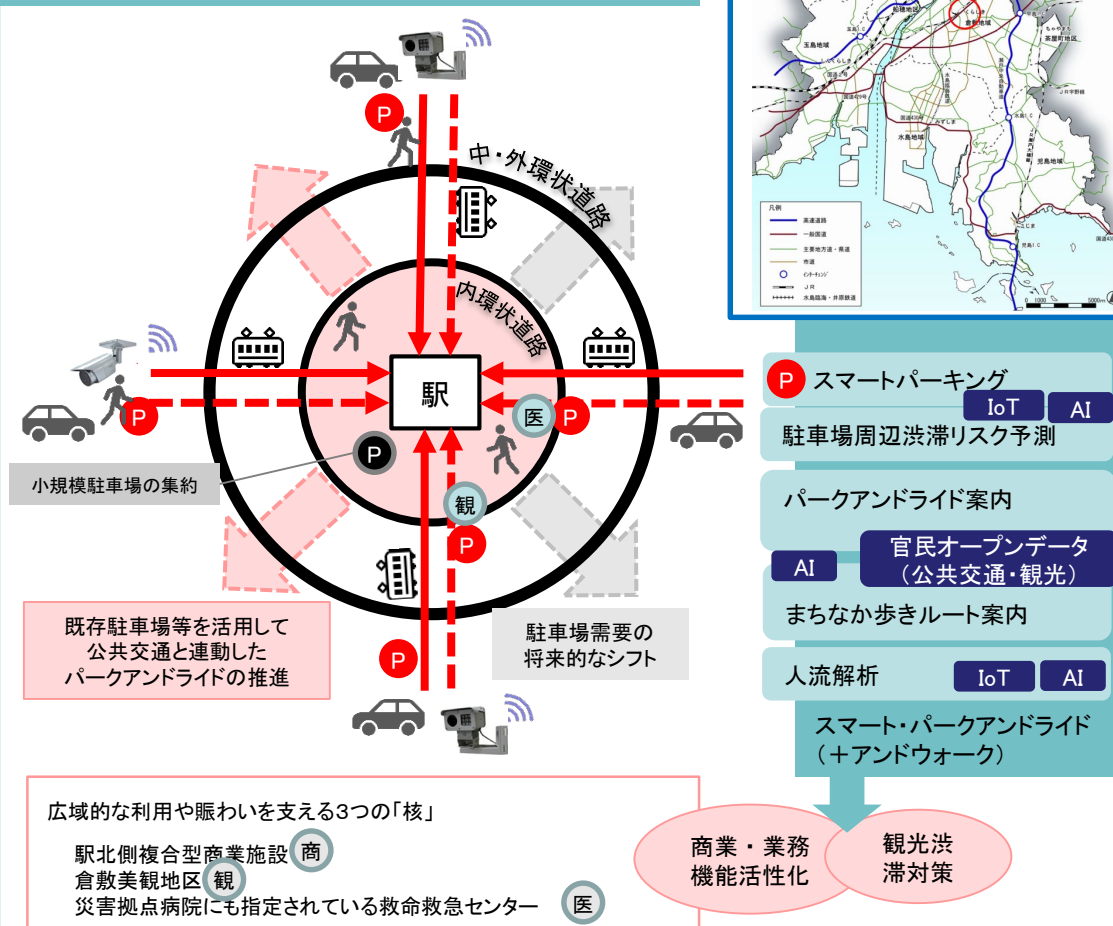
■ モデル事業の取組み内容

既存駐車場等にAIカメラ、IoTセンサを設置して、駐車場満空状況、付近の交通状況、人の通行状況をリアルタイム収集し、AIを活用した渋滞リスク予測を行う。

また、公共交通・観光分野の官民オープンデータを連携して、状況に応じたルート案内を行い、まちなか歩きを誘導する。

【交通・モビリティ】【観光・地域活性化】

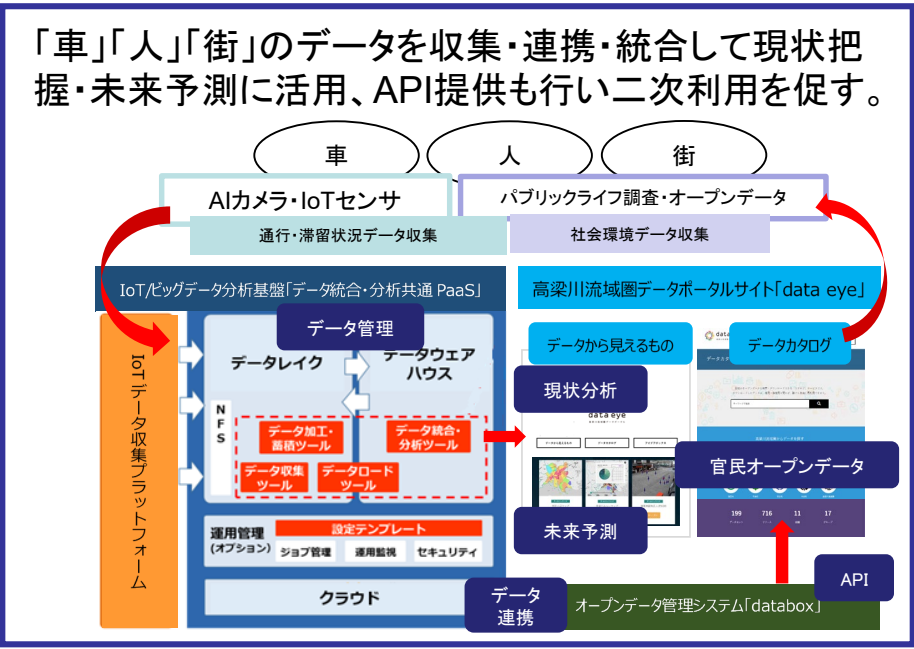
「スマート・パークアンドライド」モデル



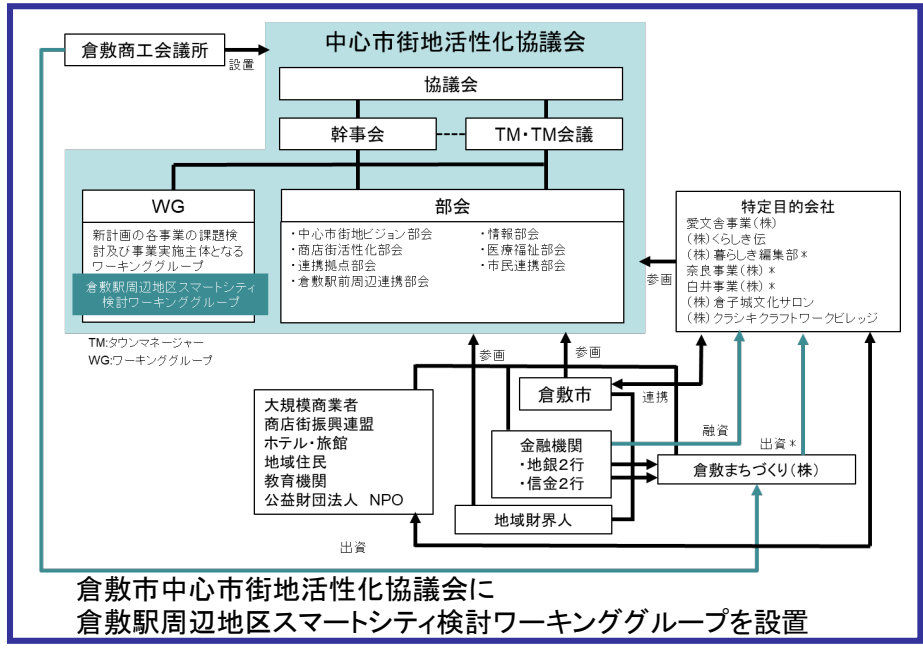
倉敷駅周辺地区スマートシティ検討ワーキンググループ（岡山県倉敷市）

国土交通省 スマートシティモデル事業 重点事業化促進プロジェクト

■ データ利活用方針



■ 運営体制



■ スケジュール

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度～	備考
中心市街地活性化	中心市街地活性化基本計画事業				
オープンデータ推進 データ管理・連携基盤運用	高梁川流域 インテリジェント ICT事業	地域データ利活用推進事業(仮称)			
スマートシティモデル事業(本事業)	スマート・パークアンドライドモデル構築			スマート・パークアンドライドサービス展開	
	モデル駐車場 (1箇所)整備	先行駐車場 (3箇所)整備	対象駐車場 (7箇所)整備	鉄道南北市街地のつながりシミュレーション	

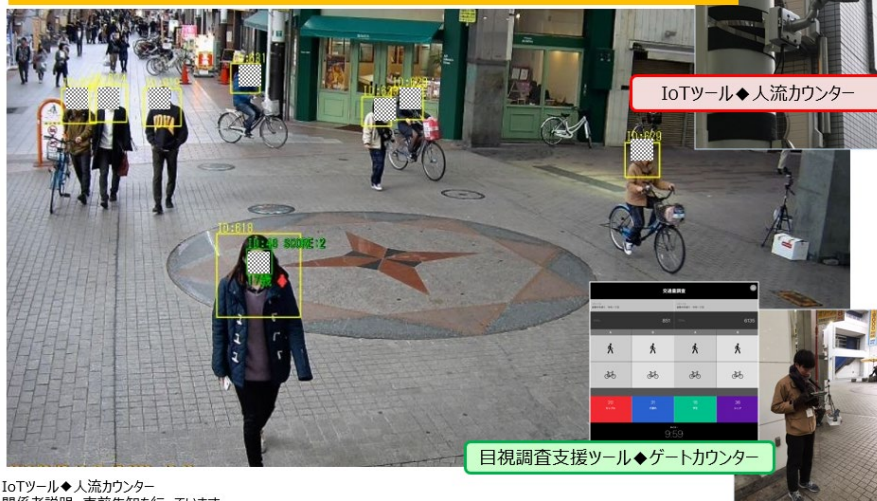
AI/IoTツールとパブリックライフ調査を組み合わせることでデータ収集

AI/IoTツールとパブリックライフ調査（※）を効果的に組み合わせることで、効果的・効率的に人と車の通行状況データを収集。街路や商店街などの街の姿のデータと組み合わせることで現状分析・未来予測を行う。

※パブリックライフ調査：公共空間における人の行動を観察し、人と空間の相互作用を調べる調査

通行量調査ツール「人流モニタリング」

IoTツールと目視調査支援ツールを組み合わせた通行量調査ソリューション



IoTツール◆人流カウンター
関係者説明、事前告知を行っています。
肖像権等のプライバシーを侵害しないよう、映像は人数・座標・属性データに変換した後破棄し、データの転送しています。

▼高梁川流域インテリジェントICT事業で整備した倉敷市美観地区人流解析・未来予測の画面



▼高梁川流域インテリジェントICT事業で整備したデータ管理・連携基盤

既存データ管理・連携環境を活用

整備済みのデータ管理・連携基盤を活用して、【交通・モビリティ】と【観光・地域活性化】という異なる分野のデータを連携・統合して、現状分析・未来予測に活用する。収集したデータは標準化し、オープンデータ（有料/無料）として公開する。

